



国に「核兵器禁止条約」への署名・批准を求める意見書採択についての請願書

【請願の理由】

広島・長崎の原爆被爆から74年になります。人類が作り出した最も残忍な兵器である核兵器による地獄を体験させられた私たちは、今日まで自らの命を削る思いで被爆体験を語り、核兵器による犠牲者が二度と生まれないことを強く願って運動を続けてまいりました。この地球上から核兵器をなくすことは、私たち被爆者の悲願です。

その願いに今、大きな希望の光が見えてきました。それは一昨年7月、国連で122カ国の賛同を得て「核兵器禁止条約」が採択されたことです。条約は第1条で「核兵器の開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵、移譲、受領、使用、使用の威嚇」を全面的に禁止しており、画期的な内容です。

さらに、この条約採択に向けて世界各国で大きな貢献をしたとして一昨年10月、ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)がノーベル賞を受賞したことは、核兵器廃絶へ向けての国際的な合意を後押しするものです。

50カ国が批准すれば発効するこの条約に既に70カ国が署名し、25カ国が批准しています。今こそ日本は、唯一の戦争被爆国として地球上の核兵器廃絶に向けて主導的役割を果たすべきです。私たち被爆者は、国が「核兵器禁止条約」に署名・批准することを切に求めます。

【請願事項】

非核平和都市宣言芦屋の市議会として、政府及び国会に、「核兵器禁止条約」への署名・批准を求める意見書を提出していただくこと。

2019年8月28日

芦屋市議会議長

中島健一様

請願者	住所	芦屋市松浜町
	団体名	芦屋市原爆被害者の会
	代表者名	会長 千葉孝子

請願紹介議員

平野貞雄  
山口みさえ